

キャリア・パスポートの効果的な活用について

令和 2 年 3 月
山口県教育庁義務教育課

1

キャリア・パスポートとは

特別活動の学級活動（3）「一人一人のキャリア形成と自己実現」では、児童生徒が学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行います。その際、児童生徒が学びを記録し蓄積する教材が「キャリア・パスポート」です。

小学校学習指導要領第5章第2[学級活動]3の(2)参照
中学校学習指導要領第6章第2[学級活動]3の(2)参照

2

キャリア・パスポートの目的

- 児童生徒が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐこと
- 教員が児童生徒の記述等をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導を行うこと

3

キャリア・パスポートの活用のイメージ

- 学級活動や各教科、学校行事等の活動の振り返り記録を残し、蓄積する。

※A4判で作成しておく、活用しやすい。



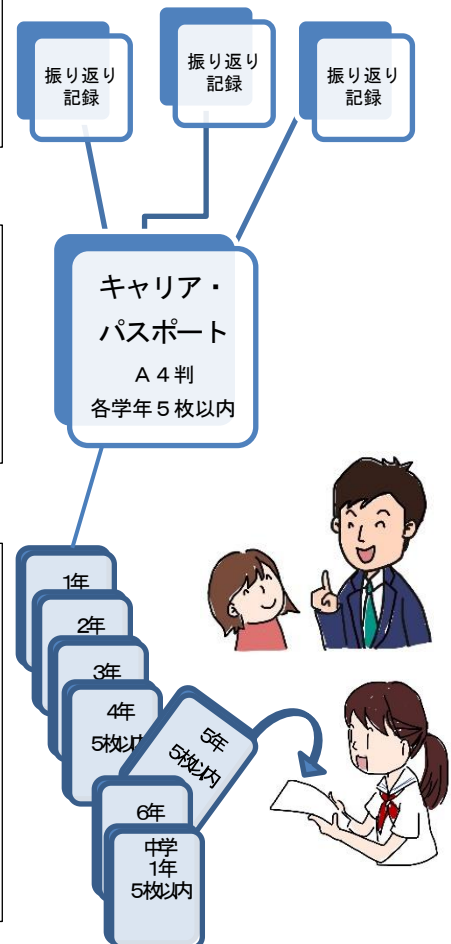
- 振り返り記録をキャリア・パスポートの基礎資料として、取捨選択や再編集を行う。

- ・ A4判（両面使用可）に統一
※A4判以外の記録は、A4判に再編集する。
- ・ 各学年での蓄積は数ページ（5枚以内）



- 取捨選択、再編集したキャリア・パスポートを学年末や進級・進学後等に活用する。

- ・ キャリア・パスポートの記録を用いて話し合ったり、記述をもとに教員が対話的に関わったりすることで、児童生徒の成長を促す。
- ・ 学年、校種を越えてファイルしていくことで、児童生徒が、学年や校種を越えた自己の成長に気付けるようになる。



<美祢市立秋吉小学校の取組>

「キャリア・アルバム」を継続して活用

平成 23 年度に指定校を中心に作成・試行し、平成 24 年度に取組を県内に普及した「キャリア・アルバム」を継続して活用

年間指導計画に「キャリア・アルバムを整理しよう」という時間が位置付けられています。

<山口市立阿東中学校区の取組>

中学校区 3 校での取組

「なりたい自分」に関する記録を子ども自身が蓄積していき、年度末等に取捨選択、再編集する形式で実施

中学校区 3 校で、学校教育目標をそろえ、協議や研修をしながらキャリア教育を推進しています。

<萩市立福栄小中学校の取組>

小中一貫教育校での取組

子ども自身が目標管理をすることができるように、項目や構成を考えて、オリジナルのキャリア・パスポートを作成

家庭との連携を意識して、いつどのように取組状況を共有するかについても計画をしています。

<参考・引用>

- 小・中学校学習指導要領（平成 29 年告示） 小・中学校学習指導要領解説 特別活動編
- 「キャリア・パスポート」例示資料等について（文部科学省 平成 31 年 3 月 29 日事務連絡）
- 「キャリア・パスポートって何だろう？」（文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 平成 30 年 5 月）
- 「キャリア・パスポートで小・中・高をつなぐ」（文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 平成 30 年 5 月）
- 「キャリア・パスポートで日々の授業をつなぐ」（文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 平成 30 年 5 月）
- 「キャリア・パスポートで『児童生徒理解』につなぐ」（文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 平成 30 年 11 月）